

後輩の皆様へ

黒部川電力株式会社 工務部 発電技術課
内記 奨 (平成24年 環境都市工学科卒業)



<電力なのになぜ土木>

電力会社と聞くと土木は関係ないと思う方がいると思いますが、実際には土木知識が必要とされています。
当社の土木に関する業務は基本的に土木構造物の保守・管理及び改修計画です。(ここでいう土木構造物は発電所基礎や取水堰堤、導水路、放水路等) 保守・管理は定期的に巡視を行い、悪さがあれば補修等を実施します。
改修計画は経年劣化や災害等で損傷した構造物をいつ、どのように直すかを検討し、計画的に工事を実施します。土木の知識は日常巡視時や改修計画検討時に必ず必要となります。

<入社前後の心境>

入社する前はインターンシップも行わず、電力会社の知識なしで求人票を手に取り、土木作業員的な仕事をするんだろうと安易な考えでいました。
入社後、発電に欠かせない仕事であるとわかり責任感が芽生え、よりよい発電をするため既存設備の改修工事等に携わり達成感も満喫しています。
今後は土木設備を統括するダム水路主任技術者を目指し、日々精進します。

(職場上司より)

内記さんには、主に水路構築物の改修工事、維持管理に関する業務を行って頂いています。また水力発電事業に重要な河川法等も熱心に勉強し、近年に控える重要な申請についても携わっており会社には、重要な存在になっております。
また、土木関連の各種講習に参加し、自分の手掛けた工事の成果について発表も行っています。
今後も、土木業務の中心人物として期待しております。



トータルステーションを用いた測量



導水路内点検の様子